

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立相武台公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		生涯学習部 相武台公民館 電話 046 - 256 - 3700		
開催日時		令和4年6月30日(木) 18時30分～20時40分		
開催場所		相武台公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	3人(館長代理、主事2人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題	(1) 公民館の概要について (2) 新型コロナウイルス感染症対策について (3) 令和3年度公民館事業実施結果及び令和4年度事業計画について (4) 令和4年度当初予算について (5) 公民館の利用状況について (6) 相武台公民館振興計画について (7) その他			

協 議 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、△は事務局の発言)

- ・委嘱状交付 選出団体の役員変更に伴って新しく委員になった委員へ、宮本公民館長から各委嘱状を交付した。(委嘱期間令和4年6月1日～令和5年5月31日)

- ・あいさつ 宮本公民館長

議題

高橋副会長が議長となり、議長の進行で進められた。

(1) 公民館の概要について

- ・事務局から説明を行い、承認された。
(意見等)
- ・特になし

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・事務局から説明を行い、承認された。
(意見等)
- ・特になし

(3) 令和3年度公民館事業実施結果及び令和4年度事業計画について

- ・各専門部、ちょっとだけ先生運営委員会及び利用者協議会から順次説明、その他の事業については事務局が説明した。令和4年度事業については、コロナ禍及び猛暑に係る対策を徹底したうえで事業を実施する旨の説明を行い、いずれも承認された。
(意見等)

○文化部が取り組んでいる「相武台周辺お花見マップ」については、文化部で独自に作成するほかにも、相武台地区の各機関が発行しているマップと連携して作成する方法もあると思うが、いかがでしょうか。

○意見を参考とさせていただきます。

○「公民館まつり」は、コロナ禍によって令和元年から3年まで中止となっており、利用者協議会の中では、まつりへ参加するモチベーションが低下している団体もある状況です。

○団体が、自分たちの活動をDVDに録画し、公民館まつりで放映する方法もあるのではないのでしょうか。

○いまのところ、自分たちでDVDを作成して公民館まつりで放映しようとする団体はありません。

○DVDを公民館などで作ることはできないのでしょうか。

○公民館まつりは、参加する団体がつくり上げるものです。DVD放映については、参加団体が「観客の前で自分たちが演じることに替えて、DVDで放

映する」と決定したうえで、自発的にDVDを作成するものと考えます。また、自分たちの活動を撮影・編集してDVDにまとめるまでにはスキルが必要となるので、そのスキルのある団体がDVDを自分たちで作って放映しようとするものだと思います。

○青少年部は、ふれあい体験クラブのハイキングを6月25日(土)に実施したという報告であったが、その日は熱中症が心配されるような猛暑日であり、子どもの参加人数も少なかったということだが、どうして、そのような状況で事業を実施したのでしょうか。同じ専門部として、これから事業を実施するうえで知っておく必要があるのでは伺います。

○当日は暑さが心配され、苦しい判断となりましたが、青少年部として熱中症対策を講じ、公民館にも相談して事業を実施しました。

○その際には公民館から「事業を中止した方が良い」という話もあったのでしょうか。この事業は、青少年部が実施したとしても、責任の所在は公民館にあると思います。他の専門部が事業を実施するうえでも、責任の所在を明らかにしておくために見解を伺います。

○専門部が実施する事業は公民館事業であるので、最終的な責任は公民館長が負うものです。当日は、猛暑が心配される天候でしたので、実施の可否について青少年部と協議し、青少年部の部員が参加者を見守る体制ができていること、天候の変化に応じてハイキングを中断して引き返す備えがあることなどを確認したうえで、事業の実施を承認しました。

当日の状況を補足説明します。当日は猛暑が予測されていたので、事務局が、朝8時頃から出発までの間に数回、市へ熱中症アラート発令の有無を確認しました。出発時にも熱中症アラートの発令がないことを確認しています。(後日、6月25日に本市で熱中症アラートが発令されていないことを確認済)ふれあい体験クラブのクラブ生12人のうち、6人がハイキングに参加しましたが、青少年部の部員6人が引率し、参加者を細かく見守ることができる体制でした。事務局の2人も同行したので、参加者の子どもより大人の方が多い状況でした。さらに、臨機対応として車1台がハイキングに伴走しました。復路の途中で参加者3人が、この伴走車に乗って公民館に帰着しました。

○対策をとっていたのは分かりました。しかし、そこまでして事業を実施する必要があったのかを検証する必要があります。また、熱中症や風雨災害などリスクが懸念される状況では、公民館は責任をもって専門部に対して事業の中止を強く指導しなければならず、専門部はそれを受け入れなければなりません。最も重要なことは、今回の事業実施で得た反省点・改善策ことを今後活かしていくことです。

意見を重く受け止め、今回で得た反省点・改善策を今後の公民館事業に生かしていきます。

(4) 令和4年度当初予算について

・事務局から説明を行い、了承された。

(意見等)

・特になし

(5) 公民館の利用状況について

・事務局から説明を行い、了承された。

(意見等)

○コロナ禍は継続しているが、相武台公民館の登録団体の推移はどうなっているのでしょうか。また、今年度の団体活動は活発化していくのでしょうか。見通しをもっているならば伺います。

登録団体数については、令和元年度末のコロナ禍発生の頃から活動を休止していた団体が、令和4度になって活動を再開している傾向を読み取ることができます。また、今年度の団体活動については、コロナ禍が継続しており、最近では感染者数が再び増加している状況にあって、感染防止対策を実施しながら事業を実施しており、明確な見通しを持つことができない状況にあります。

○公民館は、利用団体の登録数を常に把握してもらいたい。
承知しました。

(6) 相武台公民館振興計画について

・事務局から説明を行い、了承された。

(意見等)

○現行の公民館振興計画には、若者に関する記述が少ないように思います。また、公民館事業に参加するのは高齢者が多く、事業の内容も高齢者向けになっていると感じます。振興計画の中に、もっと若者を事業に呼び込むような文章を入れ込むことは可能でしょうか。

公民館振興計画は地域の住民が作るものなので、専門部や運営協議会委員が議論して文章を決めていただくこととなります。

(7) その他

・特になし

・議長から、委員に対し意見など発言を促したが、特に発言はなかった。

閉会 桑原副会長のあいさつで閉会となった。

相武台公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏名	選出団体等	役職等	出欠席
1	宮本 憲雄	公民館長	会長	出席
2	小磯 滋	相武台公民館区小・中学校長		欠席
3	桑原 勝利	自治会連合会	副会長	出席
4	右田 隆一	自治会連合会	会計	出席
5	長堀 直美	自治会連合会		出席
6	高橋 孝雄	社会福祉協議会	副会長	出席
7	荻原 正人	青少年育成協議会		出席
8	赤瀬 志保理	相武台小学校 P T A		出席
9	関塚 孝枝	相武台中学校 P T A 代理人(高橋氏)出席		出席
10	佐藤 あつ子	利用者協議会		出席
11	岡本 英夫	体育部	書記	出席
12	渡邊 砂千子	青少年部	書記	出席
13	中村 慎吾	文化部		出席
14	小野寺 勝弘	広報部		出席
15	山田 幸子	保育部		出席
16	高橋 ぎいち	ちょっとだけ先生運営委員会		出席
17	永井 保子	公民館長推薦	会計監査	出席
18	大前 操	公募		欠席
19	川島 梨乃	公募		欠席
20	山本 博之	公募		欠席

公民館職員：高橋雅広(館長代理)、高野麻衣子(主事)、石井あゆ子(主事)